

登録コード	BSD82578	開講年度	2026				
授業題目	生体医工学演習Ⅱ(22BS以降)					担当教員	田原 祐助
英文授業名	Seminar in Biomedical EngineeringⅡ					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ						
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					⇔	文献調査で得られた情報を論理的にまとめる能力とそれを発信するプレゼン能力を身に着ける。
	【専攻】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					⇔	文献調査等で最新の研究を「知る・理解する方法」を学び, 自らの嗜好や妥当性と共に, 他者へ論理的に説明できる能力を身に着ける。
(2)授業の概要	センシングに関連した技術文献、研究論文、専門書などを取り上げ、演習参加学生が輪番で講義ないしは発表し、討論を行う。						
(3)授業計画	毎週、研究室所属メンバーが集合して修士論文テーマと連動させて上記を実施する。						
(4)成績評価の方法	課題として与えられたプレゼンテーションやレポートの内容、討論への参加状況を総合的に評価する。						
(5)成績評価の基準	プレゼンテーションやレポート、討論への参加が、 ・生体医工学に関する専門分野の基礎知識の修得 ・文献情報等のデータベース検索 ・関連論文の読解・要点説明・問題点 ・修士論文テーマに関する課題設定・課題解決へのアプローチ に資していることかによって評価する。 極めて高いレベルは「秀：100-90点」高いレベルにあれば「優：89-80点」、十分なレベルにあれば「良：79-70点」、最低限の達成目標を満たせば「可：69-60点」、不十分であれば「不可：59点以下」とする。						
(6)事前事後学習の内容	研究計画, 先行研究調査, データの分析など。 この授業は90 時間の学修を必要とする内容です。 従って, 60 時間以上の時間外学習が必要となります。						
(7)履修上の注意	本授業は、修士課程の2年目に受講すること。						
(8)質問,相談への対応	担当教員の指示に従くこと。						
(9)その他	指定しない。						
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	指定しない。						